

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年2月15日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」輪田校

利用児童数

58

回収数: 33

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	4	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	1	1	1		厚労省からの基準以上の人数は毎日配置できています。今後も基準は守っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	6	1	3		お子様の特性に応じて支援室を選定したり行動補助を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	5	0	2		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	3	0	0	職員によって差がある	お子さまの情報共有は毎日の朝礼で行い、それぞれのお子さまにどのように対応していくと良いかを話し合っています。各指導員の良さを生かしつつ、より良い支援が提供できるよう研修等重ねていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	1	0	1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	31	2	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	2	0	0		
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	4	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	6	11	5	必要としていません。	他機関や保護者様からのご要望に応じて、交流の機会は設けていきたいと考えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	5	0	2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	1	1		お子様のきらりでの様子を指導員から、ご家庭での様子を保護者様からより傾聴して計画を作成していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	5	1	2		定期的に「きらりカフェ」を実施し、情報共有の場を提供しています。皆様のニーズに合うような場を提供していければと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	3	0	0		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	10	0	0	困ったことやできたことの共有ができてとてもありがたいと感じています。また、適切なアドバイスもくれるのでとても助かっています。面談は、どの家庭も定期的に組まれているのでしょうか。こちらが希望しないと、場が設けられていないような気がしないでもありません。勘違いだったらすみません。	ご相談はお電話でもLINEでもいつでも受け付けております。また、毎回の支援の申し送りの時やご送迎時でも構いません。こちらからお声がけさせていただき、面談の場を設けさせていただいてもいいです。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	4	0	0	特に芳田先生は様子や支援方法を教えてくださり、とても信頼できます。	ありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	13	1	6	保護者同士の交流の機会はあるが、きょうだい同士の交流が無いような気がします。	きょうだい向けのイベント等は現在実施していません。ニーズや状況に応じて検討してまいります。保護者会に関しては、定期的に「きらりカフェ」を実施しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	2	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	9	0	5	活動の様子を写真等でも見れると、より様子がわかりやすいので、お願いしたいです。	主にHPとブログを通じて情報発信をしています。定期更新に努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	5	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	1	0	3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	4	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	2	0	6	事故や怪我をしたことがありません。	事故等が発生した場合には、保護者への伝達とともに、ヒヤリハットや事故発生報告書を作成し発生を未然に防ぐ策を講じています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	2	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	7	0	0	小集団活動を楽しみにしていましたが、最近は製作が多く行きたくない。と言う時があります	個別支援においても小集団支援においても、お子様が楽しめる支援プログラムを提供できるよう職員で話し合っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	3	0	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもサポート教室「きらり」磐田校		2026 年 2 月 14 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・お子様の支援内容や特性に合わせ環境設定を行っています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・2025年12月現在は児童指導員6名（作業療法士、精神保健福祉士、保育士）などそれぞれの専門性を生かした療育を提供しています。	・日によって職員配置が少なくなってしまう時もある。毎日余裕を持った配置ができるようにしたい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・玄関には手すりを設置しています。 ・入りの段差は段差解消マットを使用しています。 ・支援室内は掲示物など刺激になるものを減らしています。 ・指導員に出来る努力はしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日清掃を行っており、清潔を保っています。お子さんの特性や活動に合わせて療育室を変えています。 ・毎日掃除を行い、その際に換気も行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・1対1の個別療育の為、基本にお子さんは指導員と個室で過ごしています。 ・毎日の朝礼で、利用者に合った部屋の割り振りをしています。希望に応じて部屋の変更もしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・本事業所評価を公開しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・本事業所評価を公開しています。 ・年に一度事業所評価を配布し、必要に応じて改善しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ミーティングや1on1面談などで全体でも個別でも意見を言える環境を作っています。 ・1on1面談を行っています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者評価については検討中です。 ・第三者による外部評価は現在行っていません。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・教室内外の研修や発達支援研究所の事例検討会に参加しています。 ・外部の講師を招き、事例検討会を行っています。また、会社主催で研修を行っています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援終了後の保護者さんとのフィードバック時にプログラムを提示しながら、支援内容を公表しています。 ・プログラムを作成し、利用者に合った支援を行っています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・年度初め、保護者様にアセスメントシートの記入をしていただき、全体でお子さんの様子を周知しています。その他日々のお子さんの様子は全体で共有を行っています。 ・年に一度必ずアセスメントを取っています。発達段階の知れるツールを用いて適宜行うこともあります。	

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	・計画は原案を作成したのち、個別支援会議を開催し、指導員の意見を取り入れながら、周知を行っています。 ・支援を担当した職員がモニタリングをした後、計画を立てています。作成した計画は必ず回覧しています。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	・個別支援会議を開催し、指導員の意見を取り入れながら、周知しています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	・年に一度のアセスメントに加え、発達段階などを測れるツールを使用し、アセスメントを行っています。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	・個別支援計画に内容が記載されています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・職員同士で支援の内容を共有し相談しながら組み立てを行っています。 ・個々でプログラムを立てていますが、必要に応じ相談しています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・お子さんの成長や保護者様のニーズ、学校や自宅での様子を聞きながらその時に必要な使えを伸ばすことができるようにしています。 ・一定期間の固定があることもありますが、状況に応じたプログラムの変更を行っています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・保護者様のニーズに合わせて、支援計画に盛り込んでいるお子さんもいます。年齢が近いお子さん同士で活動したり、実際の場面を想定して、同じ時間で来ているお子さん通しで防災訓練を行っています。 ・個別支援に加え、小集団支援も月に1回行っています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・日によってスケジュールが異なるため、支援開始前に打ち合わせをすることが難しい時もありますが、可能な限り実施しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・日によってスケジュールが異なるため、支援開始前に打ち合わせをすることが難しい時もありますが、可能な限り実施しています。 ・翌日に朝礼を行い、支援の振り返りをしています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・記録を記入しながら支援内容を自信で振り返り、次の支援につなげています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・実施できています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	・まんべんなく取り入れられるようにしています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・支援の中や好きなおもちゃで遊ぶ際に自己決定、自己選択ができる場を設けています。 ・利用者に合った形でを行っています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・管理者と主な担当指導員が出席できるようにしています。 ・利用者をよく理解している職員が担当者会議に参加しています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・必要に応じて行っています。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・保護者様から年間計画をコピーさせてもらったり、市のHPから確認しています。 ・保護者にお願いをし、年間計画を持参していただくことがあります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・就学にあたって連携をとることは可能です。また、弊社は多機能型のため、同事業所内の移行をスムーズに行うことが可能です。 ・必要に応じて行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・相談支援事業所や保護者様を通して情報提供を行っています。 ・必要に応じて行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・希望に応じて行っています。 ・地域の児童発達支援センターとの連携をしているか定かではありません。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・放課後児童クラブ等と一緒に活動したことはありません。	・希望に応じて検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・検討していきたいです。 ・案内があれば参加しています。 ・なるべく参加できるように努めていますが、やむを得ず欠席となることもあります。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援後に保護者と話ができる時間を設けたり、家族支援を勧めたりしています。 ・支援終了後に申し送りを行っています。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・「きらりカフェ」という保護者向け講習会をきらり主催で定期的に開催をしています。 ・利用者向けの研修案内等があれば掲示しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・毎回の支援終了後に保護者様と話をする時間を設けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・お子さんや保護者さんのニーズを踏まえながらサービスを提供しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画は保護者と一緒に内容を確認したのち、同意を得てサインをもらっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・毎回の支援終了後に保護者様と話をする時間を設けています。また希望がある方には家族支援を行っています。 ・必要に応じて面談を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・「きらりカフェ」という保護者向け講習会をきらり主催で定期的に開催をしています。 ・年に2度きらりカフェを開催しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情があった場合はマニュアルに則り、苦情報告書の作成、回覧、上司へ報告、改善点を見つけていくようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・LINE、ブログなどSNSを通じて発信しています。 ・活動の様子をブログに上げています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報カギのかかる書庫に入れています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・発達段階に応じた言葉の選択、端的に物事を伝える、視覚的に訴えるといった対応をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域の防災訓練へ参加をしています。 ・現在、地域の方を招くような行事は行っていません。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各委員会を設置し活動しています。マニュアルは掲示をしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月防災訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・アセスメントシートに記入していただき、職員は把握しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・アセスメントシートにアレルギーを記入していただき、職員は把握しています。 ・食事やおやつを提供をしていないため、医師の指示書に基づいた対応は行っていません。	・状況に応じて対応をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画は手に取れる場所に掲示しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画は手に取れる場所に掲示しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットがあった際は、記録として残しています。指導員同士で同じことが起こらないように話して環境整備を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的に研修や委員会活動を行っています。また毎月チェックリストを記入し虐待防止に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・個別支援計画に記載されており、計画更新のたびに説明し同意を得ています。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」磐田校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 24日 ~ 2025年 12月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58人	(回答者数) 33人
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を主として行いつつ 小集団支援も組み合わせて支援内容に幅を広げていること。	状況に応じて机などを移動させ、空間を広く使うようにしている。	不必要なもの、普段なかなか使われないものを整理してより空間を広く使えるように努める。
2	アナログゲームの数が多く、利用時の状況に応じた支援の幅が広がっている。	お楽しみのゲームとしてだけでなく、支援としてもアナログゲームを取り入れて楽しく活動できるようにしている。	支援として活用できるようなアナログゲームを積極的に活用していく。そのための情報収集をしている。
3	作業療法士や保育士、精神保健福祉士など保有資格や年齢層に幅があり、様々な児童への対応が可能にしていること。	担当制にしないで一人の児童に対してなるべく多くの職員が当たるようにしている。	資格や経験値にとらわれず、みんなで意見を出し合ってより良い支援を提供する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援以外の業務になかなか手が回らない時がある。	職員一人一人に対する仕事量がキャパシティを超えていると感じる時期がある。	効率の良い仕事ができるように作業分担をしたり優先順位をしっかりと立てた仕事ができるように喚起していく。
2	ある程度広い敷地であると思われるが、生かし切れていないところもある。	余計なものが多く、整理がし切れていない。	できるときに整理していくようにする。個人ではなく、事業所全体で動く時間を設けていく。
3	同一校舎内に留まりがちで、他校舎の支援や他事業所の支援を参考にする機会が少ない。	他事業所との交流がなく、同じきらり内での交流が減ってきている。	機会があれば積極的に参加できるよう時間を作っていく。

